

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年12月7日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300641
法人名	有限会社 広 優
事業所名	グループホーム 織月の郷
所在地	鹿児島県鹿屋市川西町2483番地 (電話) 0994-42-6667
自己評価作成日	平成23年10月19日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://kaken-shakyo.jp/kohyo">http://kaken-shakyo.jp/kohyo</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年11月26日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「今日を大切に！今を大事に！一日一笑」を心がけ、「良い人生だった」と思ってもらえるような日々を送れる様に支援しています。危ないから止めるのではなく、利用者様が望まれる事を「100パーセント叶えてあげよう」との思いで、その時その時の感動を味わってもらい、悔いのない人生が送れる様に取り組んでいます。外出を多く心がけ、いつでも出かけていけるように、スタッフの数も状況に応じて対応が来ています。利用者様が安心して過せるように、そして、周りに気を使わず、自由に暮らせたなら、きっと幸せだと思います。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

## 【事業所の優れている点】

- ・事業所は、2ユニットの平屋の建物で、菜園もあり芝生の庭は広く、花見や家族会等に活用されている。ホールは、木の温もりがある木造で、天井が高くゆったりとしており、畳のスペースがあり冬場には堀コタツでゆっくりできて、利用者のペースで生活できる環境となっている。
- ・夏祭り等の地域の行事に参加したり、地域住民がホームを訪れたり、中学生の福祉体験を受け入れるなど、地域と積極的に交流している。
- ・利用者への支援の充実のため、4名の看護職員を配置して、適切な健康状態の把握ができるよう手厚い体制づくりをしている。

## 【事業所の工夫点】

- ・職員が多くいることで、週に2～3回のドライブや夜間の外出支援も実施できており、花見や近隣の学校の運動会見学等の外出を利用者も楽しいんでおり、家族からも喜ばれている。
- ・家族との関係を密にするために、3ヶ月毎にモニタリングに来てもらったり、できるだけ面会の機会を作るなど工夫している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	
			実施状況	実施状況
次のステップに向けて期待したい内容				
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	いつでも、確認できるように、理念は玄関・職員用トイレに掲示してある。また、パンフレットやホーム便りにも明記し、ミーティング時等皆で確認している。	理念は玄関に掲示し、パンフレットにも載せている。「たおやかに凜として」を理念の中核として「笑顔でゆったり」をモットーにしている。月に1回のミーティング時等で確認し、職員はよりよいサービスが提供できるように努めている。
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、祭り等地域の行事や学校の運動会等にも参加している。	町内会に加入しており、地域の人がホームを訪れたり、夏祭り等の地域の行事に参加するなどしている。中学校の福祉体験の受け入れや高校・中学・幼稚園の運動会、文化祭の見学等にも出かけている。地域との交流を積極的に行っている。
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の方々を夏祭りに招待したり、利用者とともに作ったお団子をおすそわけしたりしている。	
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一回開催している。町内会長、民生委員、家族、利用者、行政関係等の参加を得て、参加者から、いろいろな意見や情報がホーム運営に活かされている。	会議には、家族・民生委員・町内会長・市担当者等の多くの出席者がある。活動内容等を説明し、意見交換を行いサービスの質の向上に反映させている。外部評価の結果についても報告している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>連絡を密に取りながら、連携をとるよう努めている。</p>	<p>運営推進会議で市担当者との意見交換のほか、市の研修会にも出席している。市役所に相談や情報交換に頻繁に出向いている。夏祭りには市担当者が来訪する等、相談しやすい関係ができています。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>ホームの方針として、拘束のないケアに取り組んでおり、日中は施錠はせずに職員間の連携で安全で自由な生活を楽しめるように支援している。</p>	<p>外部研修や事業所内勉強会を実施しており、事業所の方針として身体拘束をしないケアに取り組んでいる。職員間の連携がとれており、安全で自由な生活を楽しめるように支援している。日中は鍵をかけないケアを実践している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止の研修等に積極的に参加し、常に利用者ご本人の意向や満足度を第一に考えている。また、スタッフがストレスを抱えないように、心のケアにも配慮しながら虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>権利擁護に関する研修会にもスタッフ交互に参加し、ミーティングで全スタッフに報告し共有している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約書や重要事項説明書等は事前に十分に説明を行い、理解納得して頂いたのち署名捺印をしてもらっている。また、退所時も十分な説明を心がけ理解と納得を図っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>外部に第三者委員会を定めており、玄関に掲示している。連絡帳やミーティング等で、利用者の意見、苦情、不満等を把握し的確な対応に努めている。</p>	<p>意見箱を設置し、利用者からは日頃の生活の中で要望等を聴取している。家族からは、面会時や行事の後の食事会等を活用し、話を聞いており、常に意見や相談がしやすい雰囲気作りを心がけている。要望等には、職員全体で解決できるように努めており、運営推進会議でも報告し運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>年に数回の食事会を設け、社長・管理者・スタッフ間のコミュニケーションを図り、普段言えない事も気軽に話せ、信頼関係を築けている。また、スタッフと管理者・社長との面談も行っている。</p>	<p>ミーティングを月に1回実施し、職員からの運営に関する要望等を聞いている。代表者や管理者は、現場にて日常的に意見を聞き、個別面談を年1回実施している。代表者や管理者は、働きやすい職場づくりを目指しており、勤務希望についても配慮している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>スタッフの状況に合わせ、臨機応変に勤務交代や休日が希望に添えて、働きやすい職場になっている。経営者と年に1回は面談も行い、スタッフは直接思いを伝え、経営者と話せる機会がある。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>業務に支障のない範囲で、研修等に参加させてもらい、個人の意識改革や質の向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホームの交流会や研修に参加して、迷った事があつたら連絡を取り合い、他の事業所の状況等を教えてもらっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ゆったりとした時間の中でじっくりと傾聴し、ご本人の思いや気持ちを受容できるよう努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族がいつでも気軽に相談してもらえるように雰囲気作りに努め、相談者のペースに合わせた傾聴を心がけ努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>十分なアセスメントを行い、可能な限り様々な選択肢を提案しご本人・ご家族にとって最良なサービスが提供できるよう努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>人生の先輩である利用者様から様々なことを学ばせてもらっている。福祉体験に来た中学生から、介護施設とは思えない。一緒に生活している感じだと言われ、自信にも繋がりました。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の来所を心から歓迎し、ご本人を支えていく為の協力関係を大切にしている。本人のみならず、場合によっては、家族の支援も行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	それぞれの要望や、意向を確認し、可能な限り叶えている。要望のいえない人に対しては、家族と話し合ったり行きたい所を探している。	利用者の要望により、自宅訪問や墓参りなどの外出についてできるだけ希望に添えるように支援している。馴染みの人と関係を継続できるように会いに行ったり、事業所から友人に連絡を取ったりして支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	自分からはなかなか仲間に入れない利用者もいる為、スタッフは見極め仲介や声かけ、配慮に努めている。また、食事の席も考慮し、必要に応じ、配置を替えている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	可能な限り交流を持ち、未永く関わっていきたい為、行事への参加を呼びかけたり、入院や他の施設に移られた方への面会も心がけている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	
			実施状況	実施状況
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思いや意思を大切に、お一人おひとりを尊重し、本人の意向の把握に努めている。	利用者からは日々のふれあいの中で思いをくみ取り、意向の把握に努めている。意志疎通が困難な人には、家族から入居時や面会時に情報を得ており、本人の意思を尊重した生活ができるように、情報を共有し支援している。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者・家族との面談時に、必要以上に質問する事は避け、生活歴や暮らし方などの情報収集を行いこれまでの経過の把握に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の状態を把握する為に、情報収集・アセスメントを実施しその人らしい生活が送れるように、情報を共有しながら、把握に努めている。	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	意見・要望等を伝えられない利用者の場合は、日常の関わりの中で、態度や顔の表情などから気持ちを汲み取り、計画の反映に努めている。	利用者の暮らしぶりをもとにミーティングで話し合い、家族には、面会の機会などを利用して、本人や家族の意向を反映させて、現状に即したプランを作成している。3ヶ月毎にモニタリングし、介護計画の見直しも6ヶ月毎に行い、状態が変化した場合には随時見直している。



自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人の生活記録は特別な事があつたら、細かく記録するようにしているが、普段の記録は簡潔にし、利用者とのふれあいを多く持てるように心がけている。連絡帳や申し送りノートも活用し、日常生活の様子を観察し、情報を得て、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人、家族の要望に応じて受診は職員が代行及び薬取りなども支援している。また、入院・退院・自宅への送迎も可能にしている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近くの公園へ散歩に出かけたり、地域の中にある高校や中学校との交流も行い、運動会や文化祭の見学に出かけて楽しませている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族が信頼しているかかりつけ医の受診を支援している。体調不良時は職員も家族と一緒に同行し、ホームでの生活状況などを医師に説明し、病状の把握に努めている。	本人や家族の希望するかかりつけ医への支援体制を整えている。協力医療機関医師の月に1回の定期健診等の往診を受けている。家族との接点を大事にし、通院はできりだけ家族が同行してもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員による健康状態の把握、管理が来ている。ホーム内に4人の准看護師が在籍し、健康管理など行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中も職員による見舞いを行うと共に、病院の相談委員と情報交換をおこなっている。回復状況を詳しく聞くことや、退院時の指導を受ける事で安心して退院できるような環境作りを提供している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期について本人家族と十分に話し合い方向性を確認している。本人の状況をみながら、職員全体で話し合い、確認しながら常に最良の対応を心がけている。</p>	<p>重度化や終末期に向けた対応については、入居時に事業所の方針を説明している。本人や家族と十分に話し合い、方向性を確認し、本人の状況を把握し職員で話し合い、対応している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>救急講習会等に参加し常日頃から緊急時に対応できるように勉強している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の訓練の他、ミーティング等で消火器の場所や使い方、利用者の避難方法などを話し合ったりしている。</p>	<p>避難訓練は年2回実施しており、消防分団や近所の人との協力を得ている。消火器の訓練も実施し、ミーティング等で事前に、避難方法などについて話し合っている。非常用の食料・水を備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>居室に入室する場合等は必ず、ノックや声かけを行い許可を得ている。また、トイレ時もプライバシーを損ねないように、必要以上の見守りは行わず外で待機するようにしている。</p>	<p>入職時に利用者の人格の尊重とプライバシーの確保について研修を行い、ミーティングの中で確認している。日頃から利用者に対しての声かけや、入室時のノック等、個人を尊重したケアを実践できるように努めている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>かねてよりコミュニケーションをとっており、何でも話せる雰囲気を作りを行っている。自ら口に出せない利用者には、いくつかの選択肢を用意し顔の表情等から判断している。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>外出好きな利用者の為にドライブをしたり、気の済むまで散歩に付き添ったりしている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>毎朝その日着たい服を選び等、本人に選択してもらっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下ごしらえや盛り付け配膳等、本人の能力に応じた仕事を職員と共にやっている。	自家精米や無農薬野菜など、特に食材に気をつけて、バランスのとれた食事を心がけている。利用者も下ごしらえや盛り付けなどを一緒に行い、職員と利用者が同じテーブルを囲んで食事をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分補給の少ない利用者には、好みの果物やジュース等も提供している。食事摂取量の少ない場合は、バナナやおにぎり、パン等必要に応じて提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後必ず声かけや促しの他、自分で出来ない方の介助や義歯洗浄、消毒等を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンに応じ、声かけや介助等を行っている。	排泄チェック表を作成し、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握している。適時に声かけしトイレ誘導を行い、できるだけおむつをしないで済むように、排泄の自立に向けた支援を行い、改善につなげている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維の多い芋を使った手作りのおやつや野菜を多く摂取できるような献立作りを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>毎日入浴可能なので、本人の都合でいつでも入浴できる。</p>	<p>毎日入浴できるように準備し、入浴する時間は利用者の希望を尊重している。気の合う人と一緒に入ることもでき、入浴を楽しめるように配慮している。薬用入浴剤などで、気持ちよく入浴できるように支援している。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>入床や起床を無理強いすることではなく、基本的に本人の意思に添ったケアを行っている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬している薬の説明書等は個人ファイルに添付しており、スタッフがいつでも確認できるようにしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>その人らしさをもっと追及し、感謝される喜びや生きる張り合いを見出せるように支援を心がけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>施錠はしていないので、いつでも外出可能である。その際必ずスタッフが付き添っている。また、季節ごとの花見やドライブ、地元の学校の運動会や文化祭等へも出かけている。</p>	<p>職員を多く配置することで、日常的な外出支援をしている。夜間の外出も実施し、週に2～3回ドライブに行くこともある。季節毎に花見や学校の運動会、文化祭等へ外出支援をして、利用者も楽しみにしており家族からも喜ばれている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物ドライブ等にて本人の好みの菓子類を購入したりしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族等への電話の仲介や自ら会話できるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間には、テレビ、堀こたつソファ、籐椅子などが備えてあり、空気清浄機や空調等で快適に過せるようにしている。</p>	<p>居間は、天井も高くゆったりとしている。畳のスペースに堀こたつがあり、ソファも置いてあり、利用者が落ち着いて居心地よく生活できるよう配慮されている。</p>	



自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>籐椅子やソファー、堀こたつ等、思い思いの場所でくつろいでおられる。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>私物を持ち込んで、自分らしい部屋作りをしてもらっている。</p>	<p>居室は洋室と和室があり、押入と洗面所がついている。居室には、本人の使い慣れた家具や家族の写真等が飾ってあり、安心して暮らせるように配慮をしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内は整理整頓に努め、安全かつ自由に行動できるように常に、気配りされている。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない